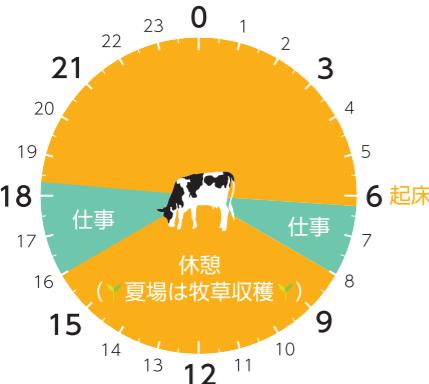


夢は6次産業化！ 坂田さんのある1日のお仕事

- 6:00 起床。
- 6:15 ~ 6:20 自宅から牧場へ、着替えて仕事開始。
- 6:20 ~ 7:00 朝の給餌。子牛への哺乳。
- 7:00 ~ 8:00 搾乳、ベッドメイク。
- 8:00 ~ 16:00 休憩。(夏場は牧草の収穫作業)
- 16:00 着替えて仕事再開。
- 16:00 ~ 17:00 夕方の給餌。子牛への哺乳。
- 17:00 ~ 18:20 搾乳、ベッドメイク。
- 18:20 帰宅。



Profile
酪農
さかた あやの
坂田 彩野 さん
青森県八戸市出身、21歳。青森県立名久井農業高等学校、青森県営農大学校を卒業と同時に(株)サウザンドリーフへ。ゲームが趣味。現在は農場向かいの一軒家に住む。

企業名 株式会社サウザンドリーフ

- 所在地／青森県三沢市
- 事業内容／酪農(乳用牛を飼育し、牛乳・乳製品の原料になる生乳を生産)
- 従業員数／5人
- 飼養頭数／130頭



彼女が牛舎を見回ると、安心した表情を見せる牛たち。
「酪農って、やっぱりおもしろい。牛には胃が4つあります。だから飽きてしまうが毎日決まった時間に、いつもと同じエサを、いつもどおりに食べるのが好きだつたり、初乳の大切さなど、何か

**酪農で働く。そして
新チーズ、ジエラート…
新たな6次産業にも挑戦！**

坂田さんの活動をあたたかく見守るサウザンドリーフのスタッフたち。誰もが彼女の成長を願っています。

牛舎を所有。そのうち坂田さんは、昔ながらのつなぎ牛舎での作業を担当している。

毎日20頭の乳用牛と10頭の子牛にエサを与え、搾乳、ベッドメイクなどの作業、さらに牛の人工授精まで行う坂田さん。「大変じゃない?」と尋ねると「朝8時から午後4時までは自由時間、こんな仕事、ほかに無いと思いませんか?私は牧場に向かいに住んでいるので、昼寝をしてゲームを楽しんだり。八戸まで買い物に行くことだってできるんです」という答えが返ってきた。

**体を動かす仕事がしたいと
畜農大学校で畜産を学ぶ**

子どもの頃から動物が好きだった。かつて祖父の家では畑を耕し、犬を飼っていたという。「だけど、私が育ったのはマンション。動物を飼うことができなかっただんです」
そして、とにかく体を動かす仕事を就きたい!と、母の母校でもある県立名久井農業高校へ進学。数多くの野菜作りを経験したが「何か違う」と感じたという。先生のすすめで畜農大学校に入学し、酪農を学んだ。そのときの実習先が、サウザン

ドリーフだった。
ここは生乳を搾るのが主な仕事。「加工品にも挑戦したいと打ち明けた」と「やっていいよ」ということでした。だからここへの就職を決めたんです」と坂田さん。アットホームな雰囲気が夢を後押ししてくれる。

坂田さんは人工授精師の資格を取得し人工授精にも挑戦しているが、思うように受胎しないことが今もその分やりがいがある。いつか自分で人工授精して生まれた牛を大切に育ててみたいですね」



将来は、自分で人工授精して生まれた牛を真心込めて育てたい!

牧場での仕事を終えて作業着を脱ぎマスクを外すと、坂田さんは工場が可愛い今どき女子だ。早朝から給餌や搾乳、牛のベッドメイクを行っていることは想像もつかない。「最初は早起きが大変でした。でも慣れれば何てことはない。この仕事の朝が早いのは、新鮮なミルクを消費者に届けるため必要なことなんですね」

サウザンドリーフでは、130頭の乳用牛をフルオートメーションで搾乳する近代的な牛舎と、一頭一頭手をかけて搾乳する昔ながらの



飼料を給餌しながら牛たちの健康をチェック